

諫早労働基準監督署からのお知らせ

令和7年の死亡労働災害

当署管内では、令和7年に業務中の災害で残念ながら2人の方が死亡されました。

死亡災害は、絶対にあってはならないものです。事業者様におかれましては、今一度、自社の作業内容・環境を見直していただき、労使一丸となって死亡災害の根絶に取り組んでいただきますようお願いいたします。

| 発生年月 | 業種 | 概要 |
|------------|-----------|--|
| 令和7年 9月 | 交通 運輸業 | トラックで走行中、路上駐車の上乗車に衝突し、トラックの運転手が運転席から放り出され、橋の下の海に転落したものの。 |
| 令和7年 9月 | 建設業 | ドラグショベルで転圧機を移動していたとき、ドラグショベルが横転し、運転手がドラグショベルの下敷きとなったものの。 |

令和7年の業種別労働災害発生状況

当署管内で令和7年に被災した休業4日以上死傷者数（新型コロナ関連を除く）は401人でした。これは前年同期と比較して11人（+2.9%）増加しました。

業種別では、「運輸交通業」、「保健衛生業」、「接客娯楽業」、「清掃業」は前年と比べて減少しましたが、「製造業」、「建設業」、「商業」は前年と比べて増加しました。

業種別の労働災害発生状況

| 業種 | 令和6年 | 令和7年 | 増減数 (件) | 増減率 (%) |
|-------|------|------|------------|------------|
| 全業種 | 390 | 401 | +11 | +2.9 |
| 製造業 | 62 | 84 | +22 | +36.7 |
| 建設業 | 44 | 50 | +6 | +13.6 |
| 運輸交通業 | 57 | 50 | -7 | -13.2 |
| 商業 | 55 | 59 | +4 | +7.4 |
| 保健衛生業 | 84 | 81 | -3 | -3.8 |
| 接客娯楽業 | 25 | 24 | -1 | -4.2 |
| 清掃業 | 22 | 17 | -5 | -23.8 |
| 上記以外 | 41 | 36 | -18 | -16.8 |



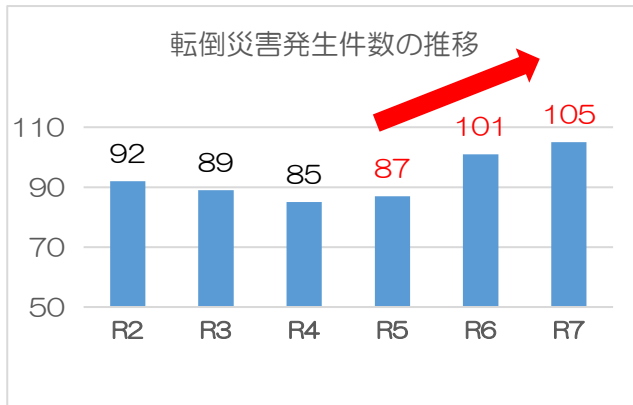
長崎労働局 諫早労働基準監督署

(担当部署 安全衛生課 電話 0957-26-3310)

転倒災害が増えています

当署管内では、**50歳以上**を中心に、**転倒による骨折等**の労働災害が増加しています。

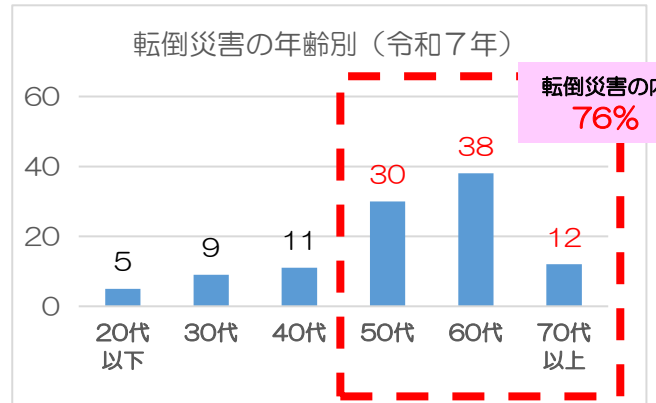
転倒災害の発生状況（休業4日以上）



転倒災害による平均休業日数（令和7年）
労働者死傷病報告による休業見込日数
約44日

転倒災害による怪我の様態（令和7年）

- **骨折（67.6%）**
- 靭帯損傷
- 捻挫・打撲 など



転倒災害の原因と具体的な対策

当署管内で発生した転倒災害については、以下の原因で多く発生していることから、対策を参考にいただきまして、**転倒防止対策**に取り組んでいただきたくようお願いいたします。

原因 ▼ **何もないところでつまずいて転倒、足がもつれて転倒**

対策 ▶ 転倒や怪我をしにくい身体づくりのための**運動プログラムの導入**

◆ 職場 3分エクササイズ (YouTube)



原因 ▼ **作業場・通路に放置された物につまずいて転倒**

対策 ▶ バックヤードを含めた**整理・整頓の徹底**



◆ バックヤードの区画表示



原因 ▼ **通路の凹凸や敷地内駐車場の車止めにつまずいて転倒**

対策 ▶ 段差はできる限り解消し、**車止め等の障害物には「見える化」**

◆ 段差の注意喚起表示



原因 ▼ **雨で濡れた通路で滑って転倒**

対策 ▶ 雨天時に**滑りやすい敷地内の場所を確認し、防滑対策を行う**

◆ 階段の滑り止めテープ



原因 ▼ **水場（食品加工場等）での作業の際に滑って転倒**

対策 ▶ 防滑床材・防滑グレーチングの導入、**摩耗している床は再施工**

対策 ▶ **滑りにくい靴**を履く

◆ 耐滑性のある長靴



原因 ▼ **作業場や通路にこぼれていた水、油、洗剤により滑って転倒する**

対策 ▶ 気づいた人がすぐに取り除くため、**近くにタオル等を置く**

◆ モップ等の配置



職場のあんぜんサイトの「転倒災害防止対策の推進について」 →

